

2024年7月吉日

一般財団法人 コージェネレーション・エネルギー高度利用センター  
(コージェネ財団)

## 2024年度コージェネ財団 海外視察調査の実施について

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当財団の運営に対しまして格別のご理解・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、2024年9月22日(日)より9月28日(土)にかけて、コージェネ財団では 海外視察調査の実施を企画しております。

今回は東南アジアのなかでエネルギートランジション期における低炭素化と将来の脱炭素化を推進しているマレーシアおよびタイを訪問し、エネルギーとしての天然ガスの位置付けの確認やコージェネ等の導入によって低炭素化を実践しているユーザーの視察を中心に計画しております。

有意義な視察調査となるよう努めて参りますので、会員企業各社様におかれてはご参加のご検討の程よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

### 1. 目的

経済成長が著しい東南アジア各国ではエネルギー需要が増加しているなか、エネルギーの多くをCO<sub>2</sub>が排出される化石燃料(石炭や石油など)に頼っている。

一方で、東南アジアも多くの国が気候変動対策として2050年から2065年までのカーボンニュートラル実現を表明しており、各国は経済成長を妨げることなく、経済活動や生活に打撃を与える停電リスクを防ぎながら増大する電力需要をまかなう必要があり、同時に脱炭素化も着実に進めていかねばならないという課題に直面している。

さらに、東南アジアでは自然条件から見た再エネのポテンシャルや電源構成は国によっても異なっており、脱炭素化を進めるためには国のエネルギー事情に合わせてさまざまな角度から適切な方法を考える必要があると思われる。

今回の視察調査では、こうした実情を踏まえながら、東南アジアにおけるエネルギートランジション期の脱炭素化に向けた取り組みについて情報収集を図ることを目的とする。電源構成で石炭依存度の高いマレーシアにおいては、天然ガスへのシフトや今後の天然ガスを活用するコージェネなどの省エネ設備の位置付けを確認したいと考えている。また、電源構成で天然ガス依存度の高いタイにおいてはコージェネ導入ユーザーを視察し、省エネ推進や脱炭素化へ向けた実状を調査する。

なお、今回視察で得られた同地域の最新情報については帰国後に取り纏め会員企業に調査報告を行う。

### 2. 実施時期

2024年9月22日(日)～28日(土) 6泊7日(機中1泊含)

### 3. 視察調査団の参加募集対象

コージェネ財団の会員企業

### 4. 視察調査団の人数・構成

団長：東京農工大学大学院 秋澤教授

団員：コージェネ財団 会員各社

事務局：コージェネ財団

<総勢：10～15名を予定>

### 5. 参加費用（渡航滞在費の概算）

約70万円/人（エコノミー航空券利用で団体割引適用の場合）

なお、上記は2024年7月時点での費用です。

燃油サーチャージ等の不確定要素があるため費用の変動があることにつきましてはあらかじめご了承ください。

### 6. 訪問先

#### 1) Toray Industries (Malaysia) Sdn. Berhad

場所：マレーシア、ペナン

概要・目的：GAS MALAYSIA ENERGY ADVANCE 社がToray Industries(MALAYSIA)社向けにガスタービンコージェネ設備を導入。同コージェネ設備は同地区3工場への電力・熱供給を行う設備容量を保有しており、同設備の視察により省エネの実際を確認する。

#### 2) MALAYSIAN GAS ASSOCIATION

場所：マレーシア、クアラルンプール

目的：電源での石炭依存度の高い状況の中、エネルギートランジション期における天然ガスの位置付けや天然ガス活用の展望などを意見交換する。

#### 3) NS-OG Energy Solutions (Thailand)

場所：タイ、バンコク

目的：タイ国においてCO2排出削減とコスト削減に貢献するコージェネレーションの設計、建設、燃料調達、ファイナンス、操業、保守を提供するNS-OG Energy Solutions (Thailand)とコージェネの現状と今後の動向について意見交換する。

#### 4) Yokohama Tire Manufacturing (Thailand)

場所：タイ、ラヨーン

目的：NS-OG Energy SolutionsがYokohama Tire Manufacturing (Thailand)に導入した7MWガスタービンコージェネ設備を視察し、省エネの実際などを確認する。

#### 5) Nava Nakorn Electricity Generating Co., Ltd

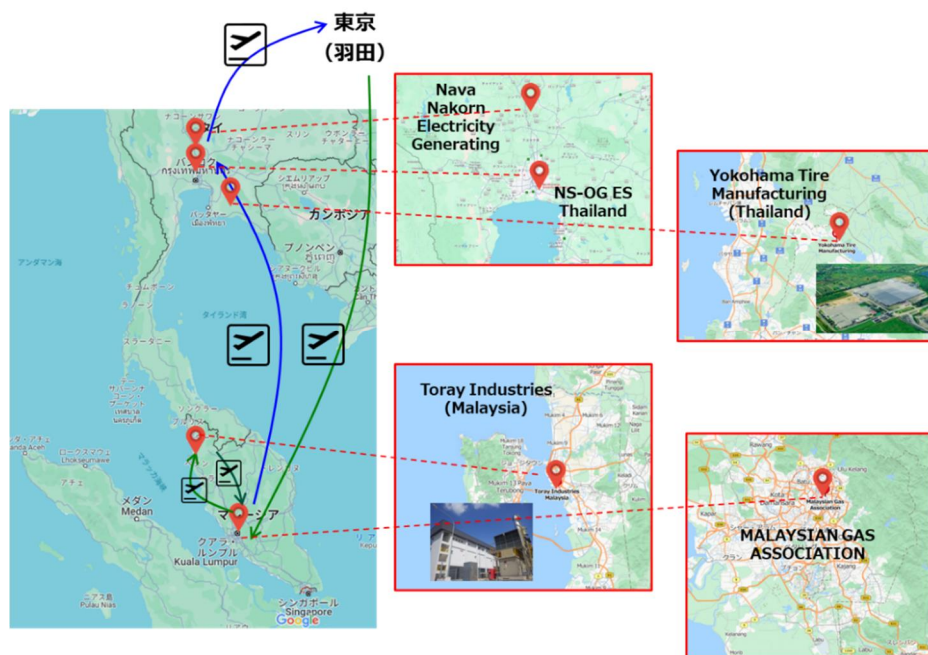
場所：タイ ナワナコン工業団地内

概要・目的：工業団地向けの SPP(Small Power Producer)で既設ガスタービン(LM6000、コンバインドサイクル)が稼働中。現在、6MWのガスエンジン×5基を導入する拡張工事を行っている。天然ガスを燃料とした最新鋭の電源を視察し、エネルギートランジション期における展望などを確認する。

## 7. スケジュール

注) 視察先の状況、天候などによって行程が変更になる場合がございます

日次	月日 (曜日)	地名	現地時刻	交通機関	日程
1	9/22(日)	東京(羽田) 発	夜間	航空機	クアラルンプール経由、ベナン【所要：7時間40分 時差-1時間】
2	9/23(月)	クアラルンプール着	午前	航空機	ベナンへ【所要：1時間】
		クアラルンプール発			
3	9/24(火)	ベナン着	午前	専用バス	Toray Industries (Malaysia) Sdn. Berhad
		ベナン滞在	午前	専用バス	Toray Industries (Malaysia) Sdn. Berhad
		ベナン発	午後	航空機	クアラルンプールへ【所要：1時間5分】
4	9/25(水)	クアラルンプール着	午後	航空機	クアラルンプールへ【所要：1時間5分】
		クアラルンプール滞在	午前	専用バス	MALAYSIAN GAS ASSOCIATION 訪問
		クアラルンプール発	午後	航空機	バンコクへ【所要2時間10分 時差-1時間】
5	9/26(木)	バンコク滞在	午前	専用バス	NS-OG Energy Solutions (Thailand) 訪問
			午後	専用バス	Yokohama Tire Manufacturing (Thailand) 訪問
6	9/27(金)	バンコク滞在	午前	専用バス	Nava Nakorn Electricity Generating Co., Ltd社訪問 拡張工事(ガスエンジン6MW×5基)
7	9/28(土)	バンコク ホテル発	早朝	専用バス	空港へ
		バンコク発	午前	航空機	帰国【所要：6時間25分 時差+2時間】
		東京(羽田) 着	午後	航空機	通関手続き終了後、解散



<視察先の位置関係>

## 8. 募集締め切り

会員企業各社様のご参加についての回答期限 : 2024年7月15日(月)

以 上